

# 「上野千鶴子氏 特別講演会」

令和元年 9月22日(日)

開演 | 13時15分～16時

会場 | ぐんま男女共同参画センター  
4階大ホール

第1部 講演会(13時15分～14時45分)

「ジェンダーバイアスとDV」

「女は女らしく、男は男らしくあるべき」って誰が決めたのでしょうか？人生相談「悩みのつぼ」から見る女と男の生き方から、この格差社会の生きづらさをどうすり抜けて楽しむのか…をお話しいたします。

第2部(15時～)

分かち合いの会

個人の問題は社会の問題であるという観点で、悩みを共有し共感し、#MeTooで語り合う時間です。



上野千鶴子氏

社会学者・東京大学名誉教授・  
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長

1948年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。1993年東京大学文学部助教授(社会学)。1994年『近代家族の成立と終焉』(岩波書店)でサントリー学芸賞受賞。1995年から2011年3月まで東京大学大学院人(社会系研究科)教授。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のバイオニアであり指導的な理論家のひとり。『ナショナリズムとジェンダー』(岩波現代文庫)。近年高齢者の介護とケアの分野に研究を拡大。『おひとりさまの老後』『男おひとりさま道』(法研)等著書多数。2011年、女性学・フェミニズムとケア問題の研究と実践において「朝日賞」受賞。

『身の下相談にお答えします』『また 身の下相談にお答えします』(朝日新聞出版)『戦争と性暴力の比較史へ向けて』(編著・岩波書店)、最新刊に『女ぎらい ニッポンのミソジニー』(朝日新聞出版・文庫)等多数ある。

当日、会場で上野先生の  
本の販売を致します。

※なるべく小銭をご用意ください。

朝日新聞土曜版beの「人生相談」  
「悩みのあるつぼ」から見る  
女と男の生き方

〈募集人員〉100人(多数の場合は抽選)未就学児はご遠慮下さい。

〈参加費〉無料 〈締切日〉令和元年8月5日(月)必着。

〈応募方法〉往復はがきにてご応募ください。 ※書き方は裏面参照。全員の方に結果を通知します。

〈申込み先〉女性と子どものいのちを守るぐんま支援センター 認定NPO法人ひこばえ

〒371-0018 前橋市三俣町一丁目4-13/電話&FAX 027-215-5606

後援/群馬県・前橋市・高崎市・朝日新聞社・上毛新聞社・群馬テレビ・群馬ソントクラブ・国際ソロプチミスト前橋・群馬県女性連絡協議会

## 朝日新聞土曜版be連載の人気コラム 「悩みのるつぼ」(人生相談)とは？

社会学者の上野千鶴子氏は、この10年間、月1回の担当で全国紙朝日新聞(部数600万部)の身の上相談「悩みのるつぼ」(人生相談)の回答者として、すでに120回以上も他人の人生に介入し、胸のすく回答をされています。難問奇問のお悩みに対し、皆さまだったらなんと回答しますか？上野氏の親切丁寧に、傷つせず、ズバツと言いつける潔さは、面白いこと請け合いです。

この好評連載「悩みのるつぼ」から、上野氏回答の人生相談が書籍化されています。多くの悩みは身の「下」からきていると、「身の下相談にお答えします」「また、身の下相談にお答えします」は、上野氏の快刀乱麻ぶりが痛快。機嫌良く生きるためのアドバイスが満載です。

## あなたなら、 どう答えますか？

**83才**の母は、私と口論した後には『あなた上野千鶴子さんに相談したわね』と決めつけます。他人の「私は母が嫌いです」という悩みに対して『無理矢理好きになる事はない、性格が悪い隣のおばさん位の気持ちで』という上野さんの回答を信じて、責められています。(50代女性)

もし上野さんが美人であったら、現在のように社会学をしていたでしょうか？現在の素敵さは、マリリンモンローのように生れなかったからなのでは？(60才女性)

**中1**の娘が『ワイルドドライブ』という自然界の動物の生態番組で、オスが種付けのためなら子どもを踏み殺したりするのをみて、「オスって、種付けだけ？」と言います。このままでは男嫌いになるかと心配です。(50代男性)

## 〈往復はがきの記入の仕方〉

(往信面)

郵便はがき <b>62</b>	郵便はがき 3 7 1 - 0 0 1 8
前橋市三俣町1-4-13 認定NPO法人 ひこばえ 宛	この面には何も 記入しないでください。
□□□□□	

(返信面)

郵便はがき <b>62</b>	郵便はがき □□□□□□□□
この面にはあなたの 郵便番号・住所・氏名を 記入してください。	「悩みのるつぼ」から見る 女と男の生き方
□□□□□	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 申込者1名の 郵便番号・住所</li> <li>② 氏名(ふりがな)</li> <li>③ 電話番号</li> <li>④ 備考—自分の中の怒り心配、不安、悩みについて何か話したいこと、お聞きになりたいこと等、お書き下さい。</li> </ul>



## 〈会場案内図〉

### ぐんま男女共同参画センター

前橋市大手町1丁目13-12

(電話) 027-224-2211

群馬県庁西側の利根川沿いにあります。  
自転車、バイク、車でお越しの方は、県庁内の県民駐輪場、駐車場をご利用ください。



●主催・お問い合わせ先

女性と子どものいのちを守るぐんま支援センター  
認定NPO法人 ひこばえ

〒371-0018 前橋市三俣町一丁目4-13 | 電話&FAX 027-215-5606  
mail:hikobae@major.ocn.ne.jp | http://hikobaegunma sakura.ne.jp/

ひこばえ まえぼし にイコウナヤミゼロ

# ひこばえ女性専用無料相談電話 027-215-7830

※面接もあります